



公民館との連携事業「ボランティア育成講座」

今年度から浅口市中央公民館の新規事業として、中学生を対象にした「ボランティア活動を通じた学びと体験事業（ボランティア育成講座）」を開講するにあたり、公民館と連携し、この事業に協力しました。

この講座は、公民館主催事業に、中学生が主体的に企画や運営に参画するとともに、この経験を通して、地域社会へ貢献しようとする人材の育成を図ること等を目的にしています。初回の講座は、「天体観望会を企画しよう」をテーマに、地元鴨方中学校1～3年生の21人が参加し、全5回（準備・研修4回と観望会本番）の活動に取り組みました。



①

第1回（10月16日）は、講座の趣旨や目的について説明し、アイスブレイクや自己紹介を行いました（写真①）。早速、天体観望会の企画と準備に取りかかり、事業のタイトルを考え、アイデアを出し合っ、「大きな月が見れるかも♪ みんなで夜空とふれあいま SHOW」に決めました。



②

第2回（11月13日）は、天体観望会を企画するためにも、観望会とはどのようなものなのか、望遠鏡や双眼鏡を使ってどのように天体が見えるのかなど、実際に体験してもらいました（写真②）。その後、観望会当日に見ることができる天体の説明など、役割分担を話し合いました。

第3回（11月27日）は、説明する天体についてそれぞれ調べ学習を行いました。また、悪天候時のメニューを検討し、活発に意見が出された結果、「天文に関する工作」を行うことにしました。

第4回（12月4日）は、観望会本番で行う天体説明の予行演習を行い、それぞれ調べてきた天体の特徴などを、小学生向けに1～2分で説明しました。クイズを交えたり、地球と月の大きさを身近なものに例えたりするなど、各自工夫をこらしたとても良い説明でした。最後に、これまで未定だったボランティア隊の名称をみんなで考え、「鴨ボランティアズ♡」に決めました（写真③）。



③

第5回（12月18日）は、天体観望会本番の日です。市内外の小学生とその保護者など32人が集まり、「大きな月が見れるかも♪ みんなで夜空とふれあいま SHOW」を開催しました。「鴨ボランティアズ♡」は、早めに来て会場準備や打合せ、参加者の受付対応などを行いました。

観望会では、月、土星、木星、アンドロメダ銀河やすばるなど、それぞれ担当の天体について説明し、その後、望遠鏡や双眼鏡を使って天体観望をしました。中学生は、望遠鏡の調整や向いている天体の説明をするなど、これまでの準備の成果を発揮し、活躍しました（写真④）。



④

講座では、毎回活動後に反省会（茶話会）を行い、中学生同士やスタッフとの交流を図ってきました。観望会の終了後の反省会では、それぞれ感じたことなどを話し合いました。

なお、この「ボランティア育成講座」は、学期ごとにテーマを設定し、今後も継続していきます。